

令和6年度 第1回 京田辺市立図書館協議会 会議要旨

1 開会

新たな委員として、大住中学校の森本校長に委嘱した。委嘱の期間は、前任者の残任期間である令和7年6月18日まで。

2 会長あいさつ

原田会長が到着されるまで、島谷副会長が会議を進行。

3 議事

(1) 令和5年度の利用状況・図書館事業について

(事務局)

令和5年度利用状況について、昨年度3月の本協議会で報告したとおり、約78万5千冊となった。昨年度が約80万3千冊だったので、約2万冊の減少となった。要因については、北部分室では、高齢の方と親子連れの利用が減った。高齢の方に関しては、免許を返納し、来室するのが立地的にも困難になった。子どもに関しては、習い事など読書の他にすることが増えたのではないかと推測する。インターネットの普及により、調べ物が家で簡単に見えるようになったのも一因ではないかと考える。

(委員)

減少理由は感覚ではなく、データを出して分析することが大切。少々の増減は気にする必要はないが、理由がわからず微減が続くのはどうかと思う。年齢層や利用時間帯、地域別などの情報で分析が必要である。京田辺市の図書館が貸出冊数を増やすことに力を注ぐのか、それ以外のところで労力を注ぐのか、目指すところを決めねばならない。

(2) 令和6年度の利用状況について

(事務局)

日誌より、小学校の見学は今まで受け入れていたが、初めて京田辺市教育支援センターより申込があり見学を行った。図書館のバックヤードに関しては、大人も興味があるようで、今後、大人向けにも行えればと思う。

新聞・週刊誌の切り取りが多発。新着の週刊誌については、2月からカウンター内に保管し、貸出券と引き換えに閲覧してもらっている。新聞に関しては、古い新聞も含め、ページごと切り取られている状態であった。5月11日より、すべての新聞をカウンター内で保管し、当日分のみ、閲覧バーにつ

けて見てもらう形を取っている。その他の対応として、配架時などフロアーに出たときに館内を巡回するようにしている。

講座に関しては、秋に「子どもの本の講座」と「文化講座」を予定している。その他、英語のおはなし会を各館2回ずつ開催、映画会は8月より定員を設けず当日参加とし開催。すべての行事を少しずつコロナ前の状態に戻している。他部署との連携として、認知症の啓発展示、絵本についてのおはなし等を行う予定。

(委員)

新聞等の切り取り問題について、特徴的なことはあるのか。

(事務局)

今までではあったが、最近は記事に一貫性はない。新聞もいろいろな新聞である。年齢、性別はもちろん、時間帯もわからない。

(委員)

いろいろなことを考えて事業をしているが、スマートフォンにも負けないくらい図書館は楽しいところと市民に知ってもらうことが大切。図書館に関心のない人たちをいかに取り込んでいくか、来ればこんなに楽しいことがあるということを市の広報を含めて発信していって欲しい。

図書館に対する期待が広がっていくことは必要。

(委員)

おたのしみ袋の労力はすごいと思うが、どのような感じなのか。

(事務局)

毎回好評である。2,3日ですべての袋が貸し出される。200冊近くの本を選ぶが、司書にとっても勉強にもなる。

(委員)

準備が大変だろうと思うが、利用者は新しい本と出会うチャンスになるのでぜひ続けてもらいたい。

(3) その他

・令和6年度第2回京田辺市議会定例会一般質問（図書館）の報告

(事務局)

複合型公共施設整備基本構想案では、中央図書館の運営について、民間委

託を検討する方向が示されている。以前の行政改革では民間委託については見送られており、また、平成21年3月に図書館協議会からも市直営で運営するべしとの意見具申がされている。図書館は市の直営とするべきとの質問が出された。市の答弁として、意見具申から15年経過し社会経済情勢も大きく変化している。このため、市民ニーズを把握したうえで、従来の市直営と民間への部分的な委託も含め委託を行った場合、それぞれのメリット、デメリットや施設全体の運営とのバランスを踏まえて、今後検討していく。

電子図書サービスを早急に実施すべきとの質問に対しては、電子図書には検討すべき課題もあることから、導入している他市の利用状況や所蔵コンテンツの傾向から課題を整理していく、と答弁した。

(委員)

図書館の運営に関しては、意見具申から15年経過しているが、見直す、検討するというのはどうか。ただ、全国的にみて、15年前より直営を維持した方が良いといえるだけの理由は増えている。

電子図書館について、電子図書の運用をどうするのか、どの図書館でも課題となるのは予算である。電子図書を購入できるだけの予算を維持できるのかどうかが問題にもなってくる。

・第3次京田辺市子ども読書活動推進計画について

(事務局)

現在、京田辺市では第2次を策定している。令和8年度からの5年間の第3次京田辺市子ども読書活動推進計画を策定予定である。今の時代に合った内容を反映していく。次回以降で意見をもらいたい。

(委員)

積極的に進めて欲しい。

・複合型公共施設（図書館）について

(事務局)

京田辺市の図書館としてのあり方を考えたうえでの意見を聞きたい。

(委員)

市民の声を直接聞く場を作りたい。サービスを低下させずに運営してもらいたい。